

道徳科学習指導案

令和4年10月6日(木) 第2校時 児童数29名

第2学年2組 指導者 坂本 聖愛

1 主題名 やりぬく心 内容項目 A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志

2 教材名 さかあがりできたよ

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、学習指導要領第1学年及び第2学年の内容項目A-(5)希望と勇気, 努力と強い意志「自分のやるべき勉強や仕事をしっかり行うこと」をねらいとしている。困難なことにもくじけず努力することは、自分を向上させるために大切なことである。つらいことや難しいことに直面してやめようとする気持ちを克服して、物事を最後までやり遂げたときの喜びが自分を大きく成長させることになる。結果だけでなく、そこに至るまでの努力の大切さを考えるようにしたい。

指導に当たっては、自分のやるべき勉強や仕事にはどのようなものがあり、しっかり行うことの意義を自覚させる必要がある。また、家族や教師の励ましや賞賛、適切な助言などの下に自分がやるべき勉強や仕事に対して責任をもって行ったり、やり遂げたときの喜びや充実感を味わい、努力した自分に気付くことができたりするように指導することが大切である。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、係活動や決められた仕事に対して自分の仕事であることを自覚し、きちんと最後まで行うことができる児童が多い。また、仕事だけでなく自主学習や習い事など様々なことに興味をもって取り組んでいる児童もいる。しかし、苦手な勉強や運動などに対して途中で投げ出したり、楽な方へ逃げてしまったりする児童も見られる。また、係活動や決められた仕事でも、自分のことを優先し、進んで取り組むことができない児童もいる。本主題の授業を行うに当たって、次のアンケート調査を実施した。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. できるようになりたいことやチャレンジしたいことはありますか。<ul style="list-style-type: none">・一輪車に乗れるようになりたい。・苦手な野菜を食べられるようになりたい。・水の中に潜れるようになりたい。・二重跳びができるようになりたい。2. 苦手なことがあり、やりたくなくなったことはありますか。<ul style="list-style-type: none">・宿題をしていたが、遊びたくなってしまった。・縄跳びの練習中に足に縄が当たり、痛くてやめてしまった。・鉄棒やのぼり棒の練習中に怖くなってしまった。3. できるようになりたいことがなかなかできないとき、どんな気持ちになりますか。<ul style="list-style-type: none">・面倒くさい。やめたくなる。・できない、どうしよう。恥ずかしい。・もやもやな気持ち。心配になる。・悔しい。 |
|--|

アンケート調査から、多くの児童ができるようになりたいことがあり、今現在頑張っている。また、苦手なことから逃げたくなった経験がある児童も半数以上いる。その多くは勉強や運動などであった。そこで、本教材を通して最後までやるべきことをやり抜く強い意志や継続していく努力について考えさせたい。

(3)教材について

できなかった逆上がりができるようになるために、休み時間や夏休みも練習に励み、夏休みの終わりにはとうとうできるようになるという内容の話である。中心発問では、夏休みの間毎日練習していることに着目し、逆上がりができるようになりたい前向きな気持ちと、なかなかできず諦めそうな気持ちを比較して考えさせたい。また、つらいことや難しいことに直面して投げ出したくなりながらも、最後までやり抜いた気持ちを想像させ、結果だけでなくそこに至るまでの努力の大切さについても考えさせたい。さらに、先生や母親に励まれ、それを成し遂げた喜びに共感して考えることでねらいに迫るようにしたい。

4 研究主題との関連

本校の研究主題「自己を見つめ、豊かな心でよりよく生きる児童の育成～多面的・多角的に考え、深める道徳科の授業を通して～」に迫るために、以下の手立てを考えた。

課題意識をもち、それを生かして道徳的価値を追求できるような導入の工夫

・事前アンケートを実施し、苦手なことがあり、挫折した経験について児童の実態を把握するとともに、その結果を導入で掲示することにより、課題意識をもち、学習テーマにつなげるようにする。また、終末で再度アンケート結果を活用し、自分の生活を振り返るようにする。

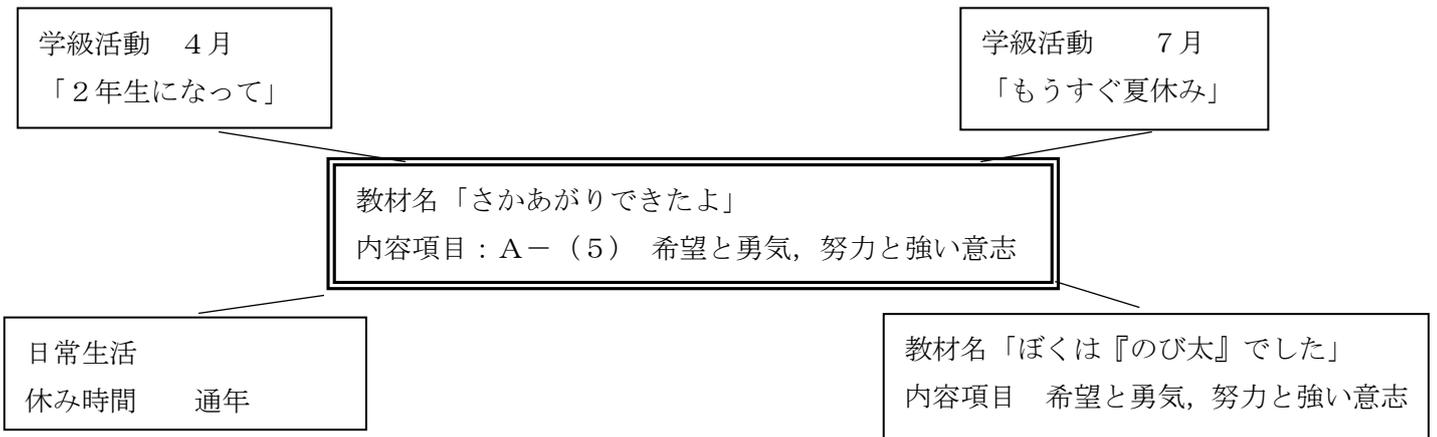
自分の考えを表現するための活動の工夫

・ワークシートを活用し、自分の考えや振り返りを書かせることで考えを整理させ、思いを明確にできるようにする。また、文字を書くことに抵抗がある児童がいるため、ワークシートに書く量を少なくする。

ねらいとする道徳的価値に迫るための発問の工夫

・鉄棒遊びが好きな「わたし」にとって逆上がりは難しい技であり、うまくできずくじけそうな気持ちに共感させられるようにする。また、夏休みに毎日練習を続け、できるようになったときの喜びや充実感に気付かせたい。
・資料の場面ごとに「わたし」の心情の変化を「心情メーター」で可視化することにより、語彙の少ない低学年の児童の思いを表現する助けにし、「わたし」の気持ちに寄り添って考えられるようにする。

5 他領域との関連



6 本時の指導

(1) ねらい 自分のやるべきことは、最後までやり遂げようとする態度を育てる。

(2) 授業の観点

- 事前アンケートをもとに、児童が実体験と本教材を結び付けて考えたことは、課題意識をもつために有効だったか。
- 表出ツール「心情メーター」を活用したことは、語彙の少ない低学年の児童が思いを表現し、主人公の気持ちに寄り添って考えるために有効だったか。

| | 学習活動 | 主な発問と予想される児童の反応 | 教師の支援と評価 | 資料準備 |
|----|--|--|---|--|
| 導入 | 1 アンケート結果を見て、本時の学習課題を確認する。 | <p>苦手なことがありますか、やりたくなくなったことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題をしていたが、遊びたくなってしまった。 ・縄跳びの練習をしていたが、足が痛くなってやめた。 ・鉄棒の練習中に怖くなって諦めてしまった。 <p>頑張り続けることについて考えよう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を活用し、頑張っていたができなかった自分に触れることで本時の道徳的価値への方向付けを図る。 | アンケート結果 |
| 展開 | <p>2 「さかあがりできたよ」を読んで話し合う。</p> <p>(1) 逆上がりができるようになるためにどのような練習をしたか確認する。</p> <p>(2) 一人で回れず夏休みも練習しているときの「わたし」の気持ちを考える。</p> | <p>逆上がりができるようになるためにどのように練習しましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼休みには先生が手助けしてくれたおかげで回ることができたが、一人では回れなかった。 ・時々練習したが、できなかった。 ・夏休みは毎日練習をした。時々お母さんが見に来てくれた。 <p>一人で回れず夏休みも練習しているとき、「わたし」はどんな気持ちだったでしょうか。</p> <p>【前向きな気持ち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習すればできるようになるかな。 ・鉄棒好きだから頑張りたいな。 ・できるようになりたい。 ・お母さんも応援してくれてうれしい。 ・悔しい。 ・もう一回やってみよう。 <p>【諦めそうな気持ち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できないな。 ・一人でやると難しい。 ・もう鉄棒やりたくないな。 ・もう練習なんて面倒くさい。 ・できなくて恥ずかしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物、設定場面、あらすじについておさえる。 ・鉄棒が好きな「わたし」でも逆上がりは難しい技であり、何とかできるようになりたいことを確認する。 ☆「わたし」の気持ちを心情メーターで可視化し、主人公の気持ちに寄り添って考えられるようにする。また、話合いや発表にも活用する。 ・夏休みの間毎日練習していることに着目し、逆上がりができるようになりたいという前向きな気持ちと、なかなかできず諦めそうな気持ちを比較して考えられるようにする。 ◎友達のを共感的に聞くよう助言する。 ☆小グループでの話合いを通して全員が発言したり、自分の考えを深めたり、自分のできるようになる。 | <p>デジタル教科書 場面絵 心情メーター</p> <p>ワークシート 心情メーター</p> |

| | | | | |
|----------------|--|--|--|---------------------------------------|
| | <p>(3) 逆上がり りができた たときの 「わた し」の気 持ちを考 える。</p> <p>3 頑張り続 けること の大切さ について 考える。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>逆上がり りができた とき、「わた し」はど んな気持 ちだった でしょう か。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・できるようになってうれしい。 ・諦めなくてよかった。 ・自信がついた。 ・もっとできるようになりたい。 ・応援してくれて嬉しかった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>できるよう になるた めに大切 なことは 何です か。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・何回も練習すること。 ・失敗しても諦めないこと。 ・友達や先生に教えてもらうこと。 ・頑張り続けること。 ・強い心でいること。 | <p>☆「やっ」という言葉に 着目させ、努力し続けてや り遂げた喜びを感じ取れ るようにする。</p> <p>※自分の意見だけでなく、 友達の意見を聞くこと によって考えが深まって いくことを伝え、お互い の意見を尊重できるように する。</p> <p>・本時の学習をもとに、今 頑張っていることができ るようになるために大切 なことは何か考えさせる。 ◇自分の生活を振り返り、 自分で決めたことは最後 まで努力し続けようとい う意欲をもっている。(ワ ークシート、発言)</p> | <p>心情メ ーター</p> <p>ワーク シート</p> |
| <p>終 末</p> | <p>4 教師の説 話を聞く。</p> | | <p>・努力に関する教師の経 験談を聞き、苦手なこと でも頑張っていこうとい う実践意欲を高める。</p> | |

7 ワークシート